**核兵器禁止条約に参加する政府の実現めざし**

**１０月６・９行動を起点に**

**すべての国民を対象に署名、対話、宣伝を！**

**2021年9月27日　原水爆禁止日本協議会**

**全国の原水協のみなさん、**

**総選挙が目前に迫りました。今度の選挙は国民の命を守る政治の実現、核兵器禁止条約への参加に道をひらく歴史的チャンスです。**

**10月の6・9行動を、文字通りすべての国民に声を届かせる全国行動とし、すべての市区町村、さらには職場、地域、学園も視野に入れた宣伝、署名、対話の一大行動を開始しましょう。**

**9月8日、野党4党は、「憲法に基づく政治の回復」など６つの柱で政策を「共有して戦い」「実行する政権の実現をめざすこと」で合意しました。共通政策第一項の3点目に、「核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する」ことが明記されました。**

**総選挙で政権交代を実現し、この政策を実行する政権が誕生すれば、広島、長崎の被爆から76年、日本の政治史上初めて、核兵器禁止をめざす政府が誕生することになります。それは、核兵器廃絶の世界の流れにも、緊張が高まる北東アジアの平和と安全にも大きな変化をもたらします。**

**日本原水協は、4党政策合意を歓迎し、市民と野党の共闘で核兵器禁止条約に参加する政府の実現に全力を尽くします。以下の行動をよびかけます。**

**１、「市民と野党で政権交代！」「禁止条約に参加する政府を！」「あなたも署名を！」と「じゃばらポスター」（10月1日完成）を使って、駅前、街頭、スーパー前などで、マイク宣伝、スタンディング・アピールにとりくみましょう。ハガキ付リーフレットの配布、署名机を設置するなど「禁止条約参加署名」への協力をよびかけましょう。**

**２、世界大会報告会、9・26パネル討論会の動画（ホームページに掲載）と「考えよう！核兵器・経済・環境」（ＤＶＤ）視聴会などを無数に開催し、参加者によびかけて、上記の宣伝行動、ハガキ付リーフのポストイン、署名の申し入れ行動にとりくみましょう。**